

本時のねらい

・約束や社会のきまりの意義を考え、守っていこうとする態度を育てる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・思考ツールを使って学習活動を行うことで、発問に対する自分の考えを整理することができる。
・発表ノートグループ化し、共有することで友だちの考えと自分の考えを比べることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・スクリーン ・発表ノート (sky menu class)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○今日のテーマを確認する。 「みんなで使うものや場所にはどんな約束やきまりがありますか。」	・写真を映し出すことで、視覚的にテーマを捉えることができる。
展開 (35分)	○物語の範読を聴く。 【写真1】 ○自転車のかごのごみを片付けているお母さんを見たぼくの気持ちを考える。 ○ごみ捨て場ではないことに気がついて困っているぼくの気持ちを考える。(思考ツール：バタフライチャート) 【写真2】 ・「捨てる」理由と「持って帰る」の理由をそれぞれ考える。 ・グループワークで、みんなの考えを共有する。 ○それでも、ごみを捨ててしまったのは、どうしてか考える。 ○空き缶を片付けるお母さんを見ながら、ぼくはどんなことが頭に浮かんできたかを考える。 ○約束やきまりは何のためにあるのか考える。(思考ツール：クラゲチャート) 【写真3】	・教科書の挿絵を発表ノートに使うことで、場面のようなすを把握しやすくなる。 ・心の葛藤を文字に起こしてバタフライチャートで整理することで、多面的な見方や考え方ができる。 ・グループ化して1ページにまとめると、友だちの考えを一度に共有できるとともに、考えを比較しやすくなる。また、文字入力の際、色分けをしておくで見やすくなる。 ・約束やきまりの意義をクラゲチャートで考えることで、道徳的価値に迫ることができる。
まとめ (5分)	○今日の学習のふり返りを書く。 ・今日の感想や、これまでの自分の行いをふり返りながら書く。	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 「日曜日のバーベキュー」を、発表ノートの文章を見ながら聴いている場面



写真2 思考ツールのバタフライチャートを活用して、自分の考えをまとめている場面



写真3 思考ツールのクラゲチャートを活用して、自分の考えを整理している場面

児童生徒の反応や変容

思考ツールを使うことで、児童自身が自分の考えを整理して考えることができる。今回は、自分自身の考え方や行いと向き合うための学習なので、効果的であると感じた。視覚的に共有できるので、友だちの意見や考え方が分かりやすくなった。また、発言で上手く言えない児童でも発表ノートの内容を示すことで、思いや考えを主張することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

タブレットPCを使うことで、意見の共有が簡単に行える。思考ツールはもちろん、グループ化や色分けなどPC上やスクリーン上で使える機能を効果的に使うことで、学習活動を充実させることができる。